

## 佐賀県研究成果情報

ハウスミカンのアザミウマ類に対する紫外線カットフィルムの侵入抑制効果と薬剤散布回数削減効果					
[要約] <u>ハウスミカン</u> を加害する <u>アザミウマ類</u> を防除するために <u>紫外線カットフィルム</u> を被覆すると、ハウス内へのアザミウマ類の侵入を抑制するので <u>薬剤散布回数</u> を削減できる。					
果樹試験場・病害虫研究担当				連絡先	0952-73-2275
部会名	果 樹	専 門	果樹虫害	対 象	ハウスミカン

### [背景・ねらい]

ハウスミカンのアザミウマ類による加害は長期間にわたるため、殺虫剤の散布回数が多くなるという問題がある。このため、化学的防除技術以外の手法を用いた総合的な対策の確立が望まれている。そこで、アザミウマ類に対する侵入抑制効果のあるとされる紫外線カットフィルムを被覆し、その侵入抑制効果と薬剤散布回数削減効果を明らかにする。

### [成果の内容・特徴]

- 1) 紫外線カットフィルムを被覆すると、サイド開放後にハウス内のトラップに誘殺されるアザミウマ類は少なくなり、殺虫剤の散布回数も少なくなる(表1, 2)。
- 2) 紫外線カットフィルムを被覆すると、防除回数を1~2回削減してもアザミウマ類(ミカンキイロアザミウマ, ネギアザミウマ, ハナアザミウマ類)による果実被害を抑えることができる(表2)。
- 3) 紫外線カットフィルム被覆による果実品質への影響はみられない(表3)。

### [成果の活用面・留意点]

- 1) アザミウマ類のうち、ネギアザミウマとミカンキイロアザミウマでは、薬剤により効果が異なるので防除する際は注意する。
- 2) アザミウマ類の判別や防除薬剤に関しては防除の手引きを参照する。
- 3) 今回使用した紫外線カットフィルムは「ベジタロンスーパー・UVカット」である。

[ 具体的なデータ ]

表1 各フィルム被覆ハウスにおける調査期間のアザミウマ類発消長(2005年)

被覆フィルム	トラップ交換日							アザミウマ数計	累計阻止率
	4/7	4/21	5/12	5/26	6/14	7/12	7/28		
紫外線カットフィルム (ベジテックスーパーUVカット)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>サイド閉</span> <span>← サイド開放 →</span> </div>								
ハウス外捕獲数	-	-	6.0	2.0	33.5	22.5	3.5	<b>61.5</b>	
加温日: H16.12.11	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.0	0.3	<b>1.6</b>	<b>97.5</b>
ハウス内捕獲数									
収獲開始日: H17.7月25日	-	-	100.0	87.5	100.0	95.6	91.4		
侵入阻止率									
慣行フィルム (ベジテック)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>サイド閉</span> <span>← サイド開放 →</span> </div>								
ハウス外捕獲数	-	-	13.0	3.0	24.5	17.5	5.5	<b>50.5</b>	
加温日: H16.11.30	0.0	0.3	0.0	0.8	2.8	5.3	1.0	<b>9.8</b>	<b>80.7</b>
ハウス内捕獲数									
収獲開始日: H17.7月9日	-	-	100.0	75.0	88.8	70.0	81.8		
侵入阻止率									

注) ハウス外捕獲数: ハウス外に設置した粘着トラップによる1基あたりアザミウマ類捕獲数  
 ハウス内捕獲数: ハウス内に設置した粘着トラップによる1基当たりアザミウマ類捕獲数  
 侵入阻止率(%) : (1-ハウス内捕獲数/ハウス外捕獲数) × 100  
 - : 調査欠  
 アザミウマ数計はサイド開放後に誘殺された総計  
 トラップ設置日: 2005年3月24日

表2 紫外線カットフィルム被覆ハウスにおける4月以降の防除回数削減と  
 収獲前のアザミウマ類による果実被害(2005年)

散布月日	紫外線カットフィルム被覆ハウス	散布月日	慣行フィルム被覆ハウス	
5月	19日 <b>DDVP乳剤75</b> 1,000倍	13日	バロックフロアブル 2,000倍	
	21日 バロックフロアブル 2,000倍	30日	<b>ダズバン水和剤</b> 1,000倍	
6月	10日 <b>ジェイエース水溶剤</b> 1,000倍	8日	<b>オルトラン水和剤</b> 1,500倍	
		23日	コロマイト水和剤 2,000倍	
		28日	<b>ダズバン水和剤</b> 1,000倍	
7月	18日	ベンレート水和剤 4,000倍	6日	ベンレート水和剤 4,000倍
		ペフラン液剤 2,000倍		ペフラン液剤 2,000倍
		<b>テルスター水和剤</b> 1,000倍	8日	<b>アリエッティ水和剤</b> 1,000倍
アザミウマ類による果実被害	0%		0%	

注1) 網掛け部分はアザミウマ防除に散布された殺虫剤

注2) 果実被害調査日: 近紫外線カットフィルムハウス 7/28, 慣行フィルムハウス 7/12

注3) ミカンキイロアザミウマ, ネギアザミウマ, ハナアザミウマ類の被害果率の合計

表3 紫外線カットフィルム被覆が果実品質へ与える影響(2003年)

着色歩合	a値	糖	酸	糖酸比
8.6	27.2	11.0	0.94	11.7

品種: 宮川早生, 樹齢: 24年, 加温時期: 11月22日

場所: 唐津市鎮西町, 収獲時期: 6月25日

注) 農家の感想では着色や品質の差は感じられない。

[その他]

研究課題名: ハウスミカンを加害するアザミウマ類に対する効率的な防除技術の確立

予算区分: 国庫・県単

研究期間: 2003年~2005年

研究担当者: 近藤知弥・田代暢哉・井手洋一

発表論文等: 平成15年, 平成17年度果樹試験場業務年報(平成17年は掲載予定)